

令和7年12月25日（木曜日）

1 出席議員は次のとおりである。

1 番 影 山 孝 男	2 番 三 瓶 一 壽	3 番 大 内 広 信
4 番 佐 藤 弘	5 番 山 崎 ふじ子	7 番 小 林 孝
8 番 松 村 妙 子	9 番 三 瓶 文 博	10 番 篠 崎 聡
11 番 橋 本 善一郎	12 番 佐久間 正 俊	13 番 影 山 常 光
14 番 遠 藤 亮 子	15 番 鈴 木 利 一	16 番 影 山 初 吉

2 欠席議員は次のとおりである。

6 番 石 井 一 正

3 職務のため議場に出席した者の職氏名は次のとおりである。

事務局 長	今泉 喜徳	書記	横田 涼
		書記	佐藤 祐梨子

4 地方自治法第121条の規定により説明のため議場に出席した者の職氏名は次のとおりである。

町 長	坂 本 浩 之
副 町 長	伊 藤 朗

総 務 課 長	鳴 原 健 二	財 務 課 長	菊 田 誠 子
企 画 政 策 課 長	渡 辺 淳	子 育 て 支 援 課 長	大 内 広 三
産 業 課 長	遠 藤 晃		
教 育 長	渡 辺 和 也	教 育 次 長 兼 教 育 課 長	藤 井 康

5 議事日程は次のとおりである。

議事日程 令和7年12月25日（木曜日） 午前10時00分開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会議日程の決定
- 第3 議案第74号 令和7年度三春町一般会計補正予算（第6号）

6 会議次第は次のとおりである。

（開会 午前10時00分）

…………… ● ● 開議宣言 ……………

○議長 ご苦労様です。

はじめに、石井議員が欠席しております。

連絡がつかみませんので、大変恥ずかしい話ながら高齢でありますので、家で倒れていたりとかそういうことも考えられますので、あとで事実確認をします。そのあとある程度議運で取り扱いをしたいと思っておりますので、今日欠席ですのでご了承願います。

ただいまから令和7年三春町議会12月第1回会議を開会します。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程はタブレットに掲載したとおりであります。

…………… ● ● 会議録署名議員の指名 ……………

○議長 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により12番佐久間正俊議員、13番影山

常光議員の兩名を指名します。

…………… 会議日程の決定 ……………

○議長 日程第2、会議日程の決定を議題とします。

お諮りします。本会議の日程は本日1日限りとしたいと思いますが、ご異議ありませんか。
(異議なしの声あり)

○議長 異議なしと認めます。

よって、本会議の日程は、本日1日限りと決定しました。

…………… 議案第74号 令和7年度三春町一般会計補正予算(第6号) ……………

○議長 日程第3、議案第74号「令和7年度三春町一般会計補正予算(第6号)」を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

坂本町長。

○町長 おはようございます。

令和7年12月第1回会議に提案いたしました議案について、その概要を説明させていただきます。配付いたしました議案書・議案説明書のとおり、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するための補正予算に係る1議案を提案させていただいております。

慎重に審議くださいますようお願い申し上げます。慎重に審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長 担当者の説明を求めます。

渡辺企画政策課長。

○企画政策課長 それでは私の方から今回の補正予算の全体像について、ご説明をまず申し上げます。

議案説明書の一番最後のページをご覧ください。4/4ページになっております。

冒頭の黄色い枠で少し括らせていただいておりますが、国の「強い経済」を実現する総合経済対策を活用した物価高騰対策のための補正予算ということになっております。

先般の国の補正予算の成立を受けた補正予算ということでご理解いただければと思います。補正予算額3億235万6,000円になっております。

まず1番目でございますが、国の補正予算の内容について少しご説明を申し上げます。

まず一つ、(1)になります。物価高対応子育て応援手当というものの補正が国の方で組まれております。内容につきましては子育て世帯への手当の支給という形になっておりまして、子ども1人あたり2万円の給付事業になっております。

(2)になります。重点支援地方交付金ということで昨年度も実施しておりますが、こちらの自治体向けの交付金に新たに食料品の物価高騰に対する支援を追加して拡充しているというような制度になっております。今回三春町に示された交付限度額につきましては、2億1,533万9,000円になっております。

食料品の物価高騰に対する支援という内容につきましては、生活者への食料品の支援が含まれる事業であれば可能という形になっておりまして、国の方では具体的な例示としまして商品券であったり電子クーポン、あとはプレミアム商品券。あとは話題になっておりますお米券。そういったものの取り組みを必ず自治体でしなければならないというような位置付けになっている制度でございます。

2番目になりますが、それらの国の補正を受けて町の方で補正を組む内容になりますが、まず(1)になります。物価高対応子育て応援手当支給事業ということで、こちらの方を4,387万2,000円の予算計上させていただいておりますが、先ほどご説明申し上げました子ども1人あたり2万円の給付事業でございます。

(2)になりますが、重点支援地方交付金を活用した生活者・事業者支援への取り組みの内容でございます。予算額総額になりますが、2億5,848万4,000円になっております。

具体的な事業の内容でございますが、下の表をご覧くださいと思います。

まず左側、生活者支援の枠組みでございます。

①になりますが、先ほど申し上げました食料品の物価高騰に対する支援の取り組みの中で、三春町としては商品券交付事業を実施するという事で予算の方を計上させていただいております。予算額1億9,899万7,000円になっておりますが、町民1人あたり1万2,000円の商品券を発行する事業として実施したいというふうに考えております。

②になります。子育て応援手当支給上乗せ事業ということで、こちらの方が金額1,075万円になっておりますが、先ほども説明しました物価高対応子育て応援手当、国の子ども1人あたり2万円にさらに町交付金を活用して5,000円を上乗せするという事業で予算の方を組んでおります。

③・④になりますが、児童福祉施設・学校給食費に関わる負担軽減事業ということで幼稚園・保育所・学校等の給食費の支援でございますが、それぞれ予算額480万円と1,896万2,000円ということで、物価高騰に対する給食費の価格転嫁を抑制して子育て世帯の支援強化を図るということで事業に取り組みたいということで考えているところでございます。

右側になります。事業者支援の内容でございます。

今回福島県の方でも重点支援地方交付金を活用して、様々な事業者支援、幅広い業種に対する支援を打ち出しております。それらの支援の枠組みから外れるもしくは福島県の取り組みを少し補完するという形で三春町としては事業者支援を実施したいということで、それぞれ4つの事業を予算計上させていただいております。

まず⑤でございますが児童福祉施設支援金給付事業ということで、福島県の方で社会福祉施設等への支援を行うということで、認可外保育施設への支援は打ち出しておりますが、認可施設については対象となっていないということで、そうした施設への支援を町の方として実施したいということで予算計上しております。

⑥、宿泊事業者等の支援事業でございます。こちら福島県の方で旅館・ホテル業への支援という打ち出しはございますが、内容につきましてはいわゆる旅行者に対する支援、宿泊費に対する補助という形になっておりますので、町の方としましては宿泊等の事業者に対して直接的な支援をするということで予算計上させていただいている内容になります。

⑦になります。農業資材等物価高騰対策支援事業でございます。予算額1,200万円ということで計上させていただいておりますが、福島県の方で生産コストが増加している畜産農家への支援ということで支援の枠組み設けられておりますが、町の方としましては畜産農家以外も含め認定農業者等を対象に支援を行うということで、機械・施設の導入に係る補助事業になりますが、そういった取り組みをしたいということで予算計上させていただいております。

⑧、土地改良区電気料高騰対策支援事業でございます。予算額377万6,000円にな

っておりますが、こちらも福島県の方で電気料の増加分に対する支援というのは打ち出されておりますが、土地改良区に対しての支援を強化するという意味合いで予算計上をそれぞれさせていただいているということでございます。

今回の補正予算の全体像についてご説明申し上げます。

補正予算書につきましては財務課長の方から説明を申し上げます。

○議長 菊田財務課長。

○財務課長 それでは補正予算書の方をお開きいただければと思います。

1 ページになります。

令和7年度三春町一般会計補正予算（第6号）になります。

第1条 既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3億235万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ96億8,043万円としようとするものでございます。

7ページまでお進みください。タブレットの8ページになります。

2 歳入。14款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金、企画費国庫補助金で、R7国補正予算 重点支援地方交付金2億1,533万9,000円になります。こちら、物価高騰対策のために町で実施する生活者・事業者への支援に対する国の交付金になっております。交付限度額を計上しております。

2目民生費国庫補助金、児童福祉総務費国庫補助金、物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金で4,300万円。同じく事務費の補助金で87万2,000円。こちら、子育て世帯への子ども1人あたり2万円の支給に対する国の補助金と支給に係る事務費に対する補助金になっておまして、補助率は10分の10でございます。

18款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金。4,314万5,000円の増。こちらは国の交付金を超過した事業費となるため、不足分を財政調整基金を取り崩して対応するものでございます。

次のページになります。

3 歳出。3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費。こちらは物価高対応子育て応援手当支給事業になりまして、子育て世帯を支援するため、子ども1人あたり2万円の給付の事業になっております。10節・11節・12節。こちらについては事務費になりまして、事務用品、コピー代と郵送料、振込手数料とシステムの改修費ということで、記載の金額を計上しております。

18節負担金、補助及び交付金。こちらが子育て応援手当として4,300万円。2万円×児童手当支給対象の児童ということで、2,150人分で計上しております。

その下の重点支援地方交付金で、1,075万円。こちら重点支援交付金を活用しまして町独自で5,000円を上乗せし、交付するものでございます。5,000円×2,150人ということで、実質子ども1人あたり2万5,000円の給付となります。

2目保育総務費になります。こちらは生活者支援と事業者支援とございまして、まず生活者支援の方が、児童福祉施設給食費負担軽減事業になります。保育所・こども園における物価高騰による給食費上昇分を保護者への価格転嫁を抑制するため、上昇分について施設の方へ交付するものでございます。

10節需用費の賄材料費185万円。こちらは岩江こども園の保護者に対する支援になります。児童数×給食の食数×値上がり分80円を見込んでの185万円の計上になります。

18節負担金、補助及び交付金。こちらは支援金給付事業になります。こちらは事業者支

援になりまして、先ほど申しあげました福島県の実施する事業の中の社会福祉施設等への支援の対象とならない保育施設への支援金の給付の事業になります。

支援金給付金として155万9,000円。こちらは県で定めた支援金の額を採用しておりまして、定員に応じた額の給付金になります。第1保育所・第2保育所・三春幼保園、こちらがそれぞれ47万9,000円。あとL-Kid's、こちらは12万2,000円の給付金の計上でございます。

その下が給食費負担軽減事業ということで、負担軽減事業交付金で295万円。こちらは第1保育所・第2保育所・三春幼保園の保護者に対する支援になります。児童数×給食の食数×値上がり分の80円の計上でございます。

次のページになります。

6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費。こちらは農業資材等物価高騰対策支援事業で事業者支援になりまして、営農意欲の維持向上や農業担い手の育成を図るため、認定農業者等を対象に農業用機材や施設導入に関わる経費を支援するものでございます。農業資材等導入補助金として1,200万円。こちらは事業費の2分の1で上限100万円の12名分で見込んでおります。

5目農業改良費。こちらは土地改良区電気料高騰対策支援事業になりまして、こちらも事業者支援になります。県で実施する電気料高騰の影響を受ける農業水利施設への支援に加えまして、町事業でも土地改良区への支援を強化するものでございます。補助金として、377万6,000円を計上しております。

7款商工費、1項商工費、1目商工振興費。こちら生活者支援と事業者支援とございまして、まず委託料として商品券交付事業。こちらは全町民を対象としまして1人あたり1万2,000円の商品券を配布し、負担軽減を図る事業になります。商品券交付業務ということで899万7,000円の委託料の計上でございます。こちらは商品券の印刷・発送、のぼり旗やポスター、チラシなどの制作等の業務委託になります。

18節負担金、補助及び交付金。こちらの商品券交付金が1億9,000万円。こちらは1人1万2,000円×人口の1万5,833人+予備分で見込んでおります。

続きまして宿泊事業者等支援事業。こちらは事業者支援になりまして、宿泊や日帰り入浴などを行っている事業者を支援するものでございます。支援交付金として764万円の計上で、こちらは部屋数や従業員数に応じて算定しております。11事業者を想定しております。

10款教育費、6項保健体育費、2目学校給食費。こちら保育所等と同様でございまして、学校給食費負担軽減事業になります。小中学校と共同調理場で給食を受けている児童や保護者の支援になります。学校給食費負担軽減事業交付金として1,896万2,000円の計上で、こちら人数×給食の食数×値上がり分の80円で積算しております。

説明は以上になります。

○議長 これより質疑を行います。質疑はありますか。

2番。

○2番(三瓶一壽議員) 先ほどの商工会に対して1人あたり2万ということなんですけども、それって冒頭に述べた国からの補助金だったかな。補助金を出すっていうやつと一緒にことなんですか。

○議長 1人頭2万っていうのは子ども…

○2番(三瓶一壽議員) いや、町民に対してでしょ。こども園の話？

ちょっと待ってください。

商工振興費。タブレットの10ページ、商品券交付業務。これ2万って言わなかったでしたっけ。

○議長 1万2,000円。

○2番(三瓶一壽議員) 1万2,000円。失礼しました。

これは1万2,000円というのは、冒頭に述べた国からの商品券、商工会で扱う商品券と同じものなんですか。

○議長 答弁を求めます。

遠藤産業課長。

○産業課長 お答えします。今回の商品券発行事業は自治体、町が商品券を作成して発行するものでございます。

以上です。

○議長 2番。

○2番(三瓶一壽議員) ということは、この商工振興費の説明の欄に商品券交付業務…発行は町で、それを直接手渡すのは商工会が窓口になるってことなんですかね。

そういう理解していいですか。

○議長 遠藤産業課長。

○産業課長 商品券の発行元は三春町でございます。

広報業務につきましては、先ほど財務課長から説明させていただきましたが、商品券の作成・印刷、各世帯への郵送業務、それからチラシ・ポスター・のぼり備品等、そういったものの経費ということで、そういったものを業務委託ということで、交付に関する業務を委託する経費として予算を計上させていただいております。

以上です。

○議長 9番。

○9番(三瓶文博議員) これ、一般の方に1万2,000円、子どもには特別2万5,000円というのが独自に三春で考えたっていうことですよ。2万円のものにさらに5,000円ということですね。

で、商品券なんですけれども、この商品券は前プレミアムとか云々のときもそうだけど、大型店舗ですか。それとも何割とかっていう対応をしたんだけど、今回はどのように考えているんですか。

○議長 答弁を求めます。

遠藤産業課長。

○産業課長 ご指摘のありました、町内の登録店舗全てで使える券と、それから大型店でも使える券ということで、これまで一定の割合で券を発行してまいりました。予算の計上にあたりまして、現在町の方では、いわゆる大型店舗4割、それ以外が6割ということで、一応想定して事務を進めたいと考えております。

以上です。

○議長 9番。

○9番(三瓶文博議員) これから印刷とか旗とか立ててっていうことなんだけど、結構時間かかりそうな懸念がするんですけども、いつ頃から実施したいと考えてますか。

○議長 答弁を求めます。

遠藤産業課長。

○産業課長 ご指摘のようにこれから予算の議決をいただければ速やかに事務を進めたい

と考えておりますが、これまでコロナ関係でプレミアム商品券の発行等を行ってまいりましたが、そういったものの実績を考えますと早ければ来年3月上旬頃ということで、ちょっとそこに間に合うかですけど、その時期を目指して進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長 他にありませんか。

(なしの声あり)

○議長 ないようでありますので、これで質疑を打ち切ります。

これより討論を行います。討論はありませんか。

(なしの声あり)

○議長 討論なしと認めます。

これより議案第74号を採決します。

本案は原案のとおり決することに、ご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議長 異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

…………… ● 町長挨拶 ● ……………

○議長 以上で本会議の日程は全て終了しました。ここで、町長より発言があればこれを許します。

坂本町長。

○町長 ただいま可決いただきましてありがとうございます。今ご指摘のあったとおり、速やかな支給に向けて、年末年始を挟んでしまうんですがスピード感を持って対応してまいりたいというふうに思っております。

本年最後の会議となりました。この1年間振り返ってみて皆様には大変お世話になりました。

1月には元町長の伊藤寛さんが亡くなられて、3月にお別れ会を実施した。改めて申し上げますと、彼は古くから住民との協働、今で言うボランティアの活動が活発になるというふうにおっしゃっていた方であります。そして今のコンパクトシティ。それは今のまさしく2核1軸のおまつり道路を挟んで歩いて回れるまちをつくろうという非常に先見性を持った、政治家でございました。そのレガシーを十分活用させていただいて、来年度に向けて頑張ってまいりたいと思います。

今年は70周年記念、あとモンベルの開業、岩江こども園開園ということで、華やかな話題も多かった一方、三春病院の撤退問題ということで、これからの高齢化・人口減少時代の予兆といえますか、負の部分が表面化した年でもありました。

そういった高齢化・人口減少に負けないでこれからの時代に適合していく。そういったまちづくりを進めてまいりますので、引き続き皆様方のご支援、そして建設的なご意見をお願い申し上げます。

結びになりますが、年末年始、インフルエンザが大変流行っております。

どうぞ体調に気をつけていただきまして、皆様明るい新年を迎えていただきたいと思ます。この1年大変お世話になりました。ありがとうございました。

…………… ● 散会宣言 ● ……………

○議長 これで、令和7年三春町議会12月第1回会議を散会します。ご苦労様でした。

(閉会 午前 10時28分)

上記、会議の経過を記載して相違ないことを証するためここに署名する。

令和7年12月25日

福島県田村郡三春町議会

議 長 影 山 初 吉

署 名 議 員 佐久間 正 俊

署 名 議 員 影 山 常 光

議案審議結果一覧表

議案番号	件名	採決	議決の状況
議案第74号	令和7年度三春町一般会計補正予算（第6号）	全員	原案可決